

広域課題の解決に向けて

6市町村で県央相模川サミットを開催



中日本高速道路と連携し、サービスエリアでのPR動画の放送が決定

広域での課題解決を話し合う「県央相模川サミット」が相模原市内で開催されました。相模川周辺の厚木・相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村の首長が防災対策や能登半島地震への緊急支援物資などの対応を協議しました。サミットは、環境対策など行政が抱える課題の解決を目的に2009年度から毎年開催。共通する課題の解消に向けて相互に連携・協議してまいります。会長の山口貴裕厚木市長は「県央地区は、圏央道・新東名など交通分野や企業誘致の面で期待されている。共通課題は協力して解決し、魅力はさらに磨き上げていきたいと思います」と連携強化に力を込めました。

歴史の聖地の拠点

あつき郷土博物館が開館5周年

博物館は、1998年に開館した郷土資料館の老朽化に伴い2019年に移転オープン。23年12月末までに延べ約13万人が来館しました。5周年に合わせて、子どもたちにも厚木の歴史に親しみが持てるよう、市内遺跡から出土した有孔罎付土器や力士埴輪など、全5種類のカプセルトイを販売しています。夫婦で参加した高橋実さん(74・宮の里)は「相模里神楽垣澤社中の公演を見たのは初めて。迫力があって厚木の文化に触れられて良かった」と話しました。



あつき郷土博物館で回せるカプセルトイ



都内で厚木の温泉をPR

下北沢駅前で「あつき温泉郷」足湯体験イベントを開催

「あつき温泉郷」の魅力を知ってもらおうと2月、下北沢駅前で足湯体験イベントを実施しました。親子連れや外国人など約2000人が訪れました。イベントは市と観光協会が主体となり初めて開催しました。小田急線沿線で利用者が多い下北沢駅の近くに、6人用と4人用の足湯を設置。「美肌の湯」として知られる市内の温泉を浴槽に入れました。親子で足湯を体験した都内在住の小林輝紀さん(35)は「近くを通ったので参加した。会場に足湯があり驚いたが、温かくて気持ちよかったです。厚木市に温泉があることを知ったので、家族で行ってみようと思う」と話しました。



来場者はアユの塩焼きなどの厚木のグルメも味わった

新春の「厚木路」で健脚を競う

あつき駅伝競走大会に47チームが参加

約22キロのコースをたすきでつなぐ「あつき駅伝競走大会」を1月、荻野運動公園を発売点に開催しました。47チーム、約380人が参加し、沿道の声援を受けながら新春の厚木路を駆け抜けました。開始を告げる号砲の合図とともに、第一走者がスタート。ぼうさいの丘公園や、林中学校前などの中継所を経て、ゴールの荻野運動公園まで、懸命にたすきをつなぎました。地区対抗の部で優勝した南毛利Aチームの前田智司監督(58・温水西)は「選手とスタッフが一丸となり、最後までたすきをつなぐと話していた。持っている力を一杯発揮し、優勝できて素直にうれしい」と笑顔で話しました。



一着でゴールした南毛利Aチーム

第12回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 エネファームを知ろう



停電時にも電気やお湯が使える

エネファームは、発電しながらお湯を沸かせる給湯器です。家に供給されるガスから水素を取り出し、空気中の酸素との化学反応で電気を作り、その熱でお湯を沸かします。

エネファームの設置には、国と市の補助金も活用できます。エネルギーを無駄なく使い、エコな暮らしを送りませんか。

CNプラットフォームでは、エネファームをより詳しく知れるページを公開しています。



環境政策課 ☎225-2749

元日に発生した能登半島地震から約2カ月、被災地では、今も多くの方が厳しい環境で避難生活を余儀なくされています。発生から時間が経つにつれ、被害の全容が明らかになり、改めて自然災害の恐ろしさを感じています。市では、被災地の一日でも早い復興を祈り、募金活動や被災地の避難所運営支援・被災者の健康サポートのため、職員を派遣しています。消防隊員も交代で現地に入

を合わせて支援を続けてまいります。東日本大震災の時、市内でも帰宅困難者や街路灯の倒壊、計画停電などの被害がありました。災害はいつ起こるか分かりません。過去の体験や派遣職員の経験を生かし、「市民の命と暮らしを守り抜く」強い思いで厚木の防災力を高めていきます。しかし、災害を乗り越えるには、自助、共助の力も必要です。地域との絆を大切に、災害に強いまちを目指してまいります。



2月6日の支援物資搬送出発式

り、行方が分からない方の捜索などに当たっています。2月6日には、県トラック協会の協力を得て、朝市サミットの仲間である石川県輪島市に、要望があった飲料水や紙おむつなどの物資を近隣9市町村と合同で届けました。これからも被災地に思いを寄せ、皆様と力を